

# 宇津木台 森遊会 実施報告

## 「第7回定例活動」

No.2024-07

実施日	2024年10月27(日) 10:00~12:00	天候：晴れ	記録：金森
場所	宇津木台緑地 (八王子市久保山町2-1)		
参加者	参加者：4名 中野、松本、井手、金森		

### 実施内容

活動14年目の第七回目。8月は猛暑で中止、9月は雨天で中止だったため3か月ぶりに活動した。作業をするには清々しい気候ではあるが蚊取り線香はまだ欠かせない。

物置に大鎌と折りたたみテーブルを追加で置くことにした。毎回の運搬が大変であることと、現地に着いて草の様子を見ないと大鎌が必要かわからないため常設することにした。また、覆いのシートがボロボロになったのでこれまで活動時に荷物置きにしていたブルーシートに変更した。

森が明るくなり、環境に適応できなくなった枯損木が目立ってきた。今回は掛かり木の起こらない場所を選んで直径15センチほどのものを手順と安全確認を行いながら伐った。

枯損木を倒す際は、ケースバイケースで様々な動きをするので特に事故が多い。知識・テクニック・経験が必要となる。

1本目は説明しながらゆっくり作業を進める。間伐の方法に加えて、鋸の使い方など各自の癖にも注意しながら思った通りに伐倒した。初めてのメンバーは木が倒れる際の迫力に圧倒された。

2~4本目は各自で伐ってみる。ロープを使用する場面も経験した。フェリングレバーは使用せず、追い口の調整とロープで対応した。伐ったものは玉切りにして虫の住み家になるようにした。

今回は緑地の入口(北門)から僅かな範囲であったがその先の遊歩道にかかる枯損木が散見されるため次回11月も継続する。直径が20センチを超える太いものは危険度が増し、周辺への影響や伐倒後の処理に時間がかかるため公園の管理者に報告することにした。



秋になり物置の周辺の草は勢いがなくなった



物置の中を確認する



覆いのシートを更新した



枯損木の伐り方を説明しながら丁寧に安全に作業する



まずまずの切り株



玉切りして片づける



これは虫の住み家になる



2本目以降は各自でやってみる



今回は安全第一で



追い口が低かった

**連絡事項** ・怪我、ヒヤリハットなし。 ・ボランティア袋は大1個、小1個を指定の場所に置く。